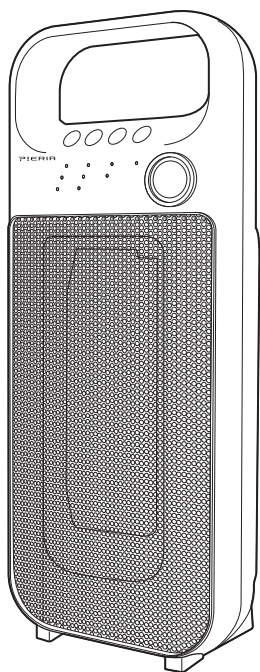


人感センサー付パーソナルセラミックヒーター DCH-1608

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意P. 2~3
各部の名称とはたらきP. 4
正しい使いかたP. 5~7
お手入れと保管P. 8~9
修理・サービスを依頼する前にP. 10
アフターサービスについて裏表紙
保証書裏表紙



仕 様

型 名	DCH-1608
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1200W / 600W / 脱臭3W
ヒーター	PTCヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ (内蔵タイプ) / 温度ヒューズ / NTC (サーモ機能)
電源コード長さ	約1.8m
外形寸法	約 幅 190 × 奥行 130 × 高さ 450 mm
質 量	約2.2kg
付 属 品	活性炭フィルター×1、プレフィルター×1、取扱説明書・保証書 ×1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

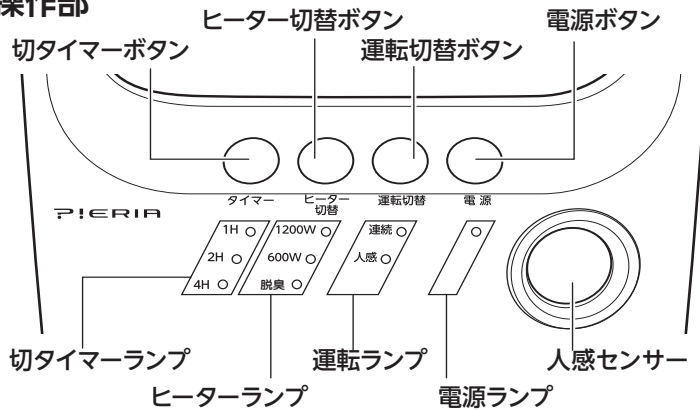
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発や火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシヤお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して火災、やけどの原因になることがあります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		

⚠ 注意

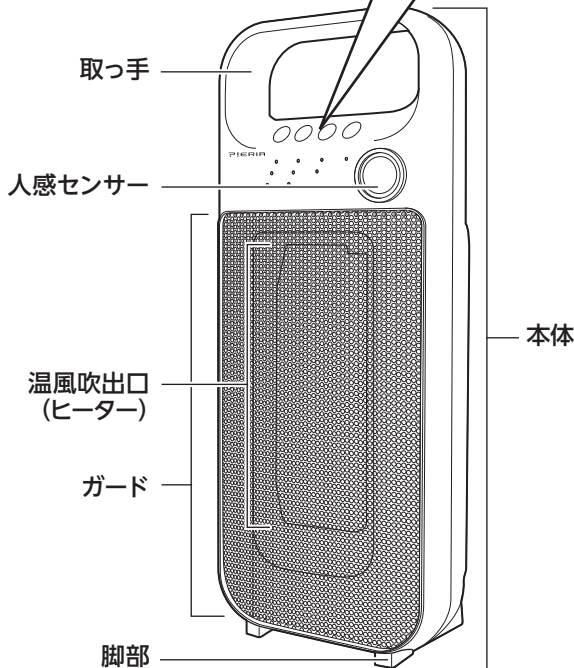
 禁止	お手入れや持ち運び、保存の際は、本体が冷めてから行なう。 火災ややけどの原因になることがあります。	 禁止	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になることがあります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になることがあります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になることがあります。		運転をする際は、必ず背面カバー、活性炭フィルターを取り付ける。 背面カバー、活性炭フィルターを取り付けずに運転すると、火災や故障の原因になることがあります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になることがあります。	 接触禁止	使用中や使用後しばらくは、温風・送風吹出し口（高温部）に触れない。 やけどの原因になることがあります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になることがあります。		

各部の名称とはたらき

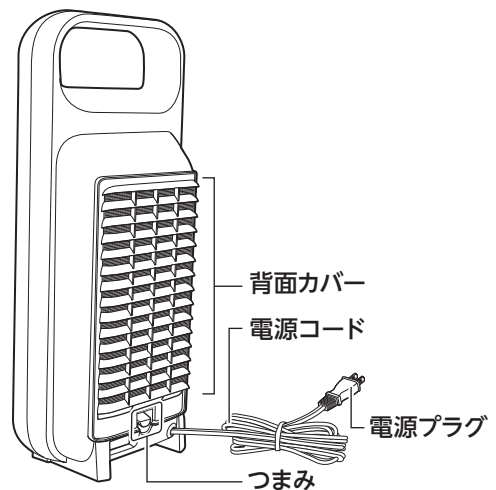
操作部



前面



背面



安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチが働き、電源が切れます。
- 温度が上昇すぎると、NTC (サーモ機能) が働き、自動的に運転を停止します。(温度が下がると運転を開始します。)

さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。(温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください。)

人感センサーについて(「センサー運転」時のみ有効)

1200W・600W

人の動きを感知して自動的にヒーター運転を開始します。人がいなくなると、約2分後にヒーター運転が停止し、さらに約8分後に脱臭運転が停止します。

脱臭

人の動きを感知して自動的に脱臭運転を開始します。人がいなくなると、約10分後に脱臭運転が停止します。

※センサー感知範囲は左右約90度、上角度約30度、下角度約30度、センサー到達範囲は1.8m 以内です。

⚠注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、ガードに触れない。

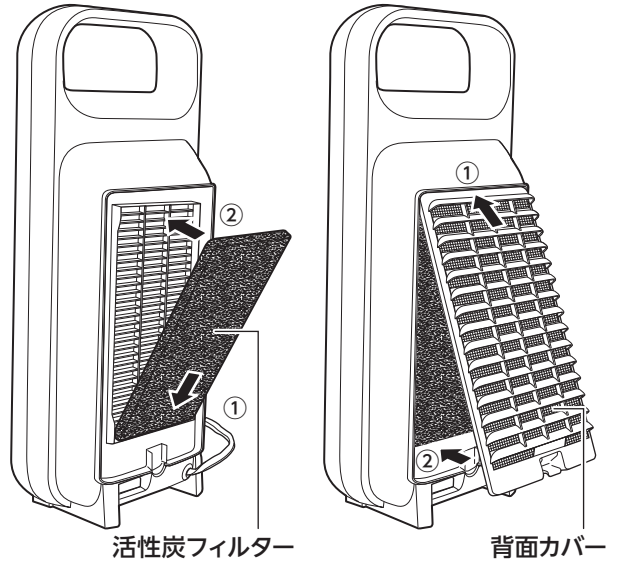
正しい使いかた

使用前の準備

活性炭フィルターをセットする

使用する前に、背面カバーをひらいて、活性炭フィルターをセットします。

- 1. 本体背面の背面カバーをはずす**
つまみを引いて背面カバーをはずします。
- 2. 添付している、活性炭フィルターを袋から取り出す**
活性炭フィルターは劣化防止のために密封されています。活性炭フィルターは、必ず袋から取り出してご使用ください。
- 3. 活性炭フィルターを本体に取り付ける**
取り出した活性炭フィルターを、本体の活性炭フィルター用の枠に、まず下から取り付け①、上を入れます②。
- 4. 本体背面に背面カバーを取り付ける**
背面カバーの上のツメを本体に入れて①、下のつまみを押し込みます②。



- 背面カバー、活性炭フィルターを取り付けない状態で、運転しない。
内部に異物が入り、火事・故障の原因になります。
- 活性炭フィルターは、1年に一度、交換する。
消臭効果がなくなりますので、販売店またはドウシヤお客様相談室に交換部品をご注文ください(裏表紙参照)。

設置する

1. 本体を水平な場所に設置する

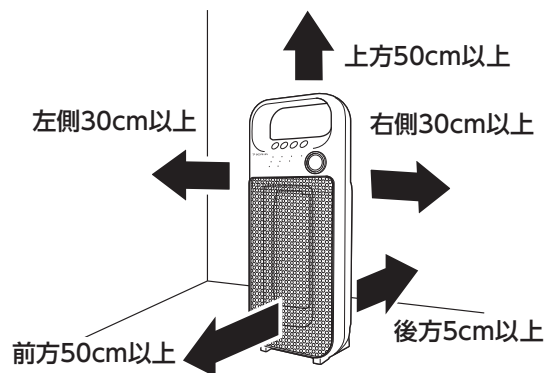
安定した水平な場所に設置してください(右図)。

- 移動させるときは必ず取っ手を持って移動させてください。
- ※ 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。
- ※ 本体を動かすとカラカラと音がすることがありますが、これは転倒オフスイッチ(安全装置)の音であり、異常ではありません。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

- “ピー、ピー”という音が出ます。
- 電源ランプが点灯します。

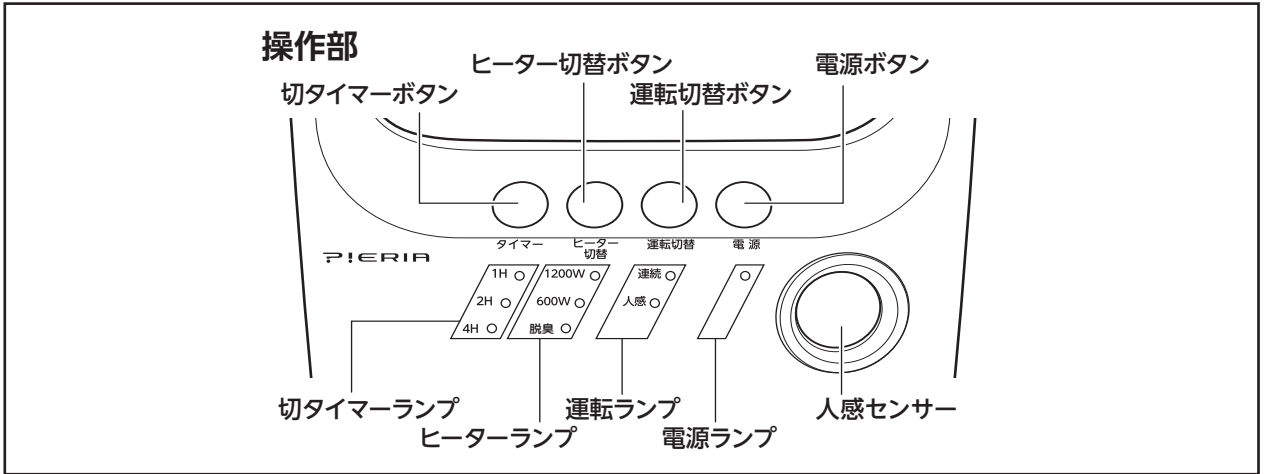
本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。(火災の原因になります)



次のような場所では使用しないでください。

- ※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所(本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。)
- ※ カーテンなどが吸気口をふさいだりしないように、十分に離して設置してください。

正しい使いかた (つづき)



運転の開始／停止

1. 本体の電源ボタンを押して運転を開始する

電源ボタンを押すと、「1200W」・「連続」運転を開始します。

2. ヒーター切替ボタンを押して、「1200W」「600W」「脱臭」を切り替える

ヒーター切替ボタンを押すごとに「1200W」・「600W」・「脱臭」運転を切り替えることができます。

- ・ヒーターランプも同様に切り替わります。
- ・ヒーター切替ボタンを切り替えても、風量は変化しません。
- ・「脱臭」は、暖房せずに送風のみ行ない、活性炭による脱臭効果を利用するものです。

3. 電源ボタンを押して運転を停止する

「ピーツ」とブザー音が鳴って、運転が停止します。

- ・電源ボタンを押してから約10秒間、ヒーターを冷やすため、ファンが回り続けます。
- ・電源ランプは点灯したままです。

4. 電源プラグを抜く

ファンが停止したことを確認してから電源プラグを抜いてください。

- ・電源ボタンを押して電源を切っただけでは待機電力を消費します。使用を終えたら、電源プラグを抜いてください。

ヒーター切替ボタンを押すたびに



切り忘れ防止機能

本体を最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

※センサー運転モードでは切り忘れ防止機能は動きません。

減光機能

本体を最後に操作してから約1分間経過すると、操作部のランプの光が弱くなります。

センサー運転モードを使用する

人の動きを感知して、自動的に運転を停止・開始を行ないます。

1. センサー運転モードにするには、運転中に運転切替ボタンを押して運転ランプを「人感」にする

運転切替ランプが「連続」から「人感」に切り替わり、センサー運転モードが設定されます。

- センサー運転モード中、ヒーター切替ボタン「1200W」と「600W」、「脱臭」運転を切り替えることができます。
- 切タイマーボタンで切タイマーを設定／解除することもできます。
- センサー運転モード中は、切り忘れ防止機能は働きません。

2. センサー運転モードをやめるには、再度、運転中に運転切替ボタンを押して運転ランプを「連続」にする

運転切替ランプが「人感」から「連続」に切り替わります。

- 人感センサーに関係なく、連続で運転するようになります。
- 切り忘れ防止機能が働くようになり、「連続」にしてから操作をしない状態で12時間経過すると自動的に運転を停止します。

切タイマーの設定

設定した時間になると自動的に電源を切る、切タイマーを設定することができます。

1. 切タイマーを設定するときは、運転中に切タイマーボタンを押して切タイマーの時間を設定する

切タイマーボタンを押して、切タイマーの時間を設定することができます。

- 切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが働くまでの時間を表示します。

2. 切タイマーをキャンセルするには、切タイマーボタンを何回か押して、切タイマーランプを消灯させる

センサー運転モード

1200W/600W運転時

- 人を感知しなくなってから約2分後にヒーターが切れ、ヒーターランプが点滅、約8分間送風運転したあと、運転が停止します。

ヒーターランプ、人感ランプは点滅に替り、待機状態になります。

- 1200W/600W/脱臭ランプが点灯から点滅に替わり、待機状態になります。

待機状態のときに、人の動きを感知すると、待機前と同じ運転を再開します。

- 人感センサーランプは点灯に替わります。

脱臭運転時

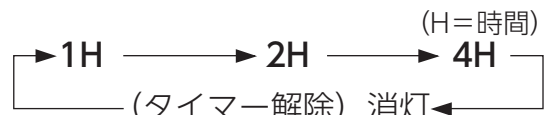
- 「脱臭」運転時、人の動きを感知しなくなってから約10分後に送風運転が停止します。

動作停止中は「センサー運転」ランプが点灯から点滅に替わり、待機状態になります。

待機状態時に人の動きを感知すると送風運転を開始します。

- ※ センサー感知範囲は左右約90度、上角度約30度、下角度約30度、センサー到達範囲は1.8m 以内です。

切タイマーボタンを押すたびに



切タイマーランプは時間がたつと



- 運転切替ボタンで「人感」に設定されていると、切タイマーの時間内で人感センサーに合わせて運転／停止します。切タイマー時間が経過すると、運転中は運転が停止し、停止中はそれ以降運転を開始しなくなります。

お手入れと保管



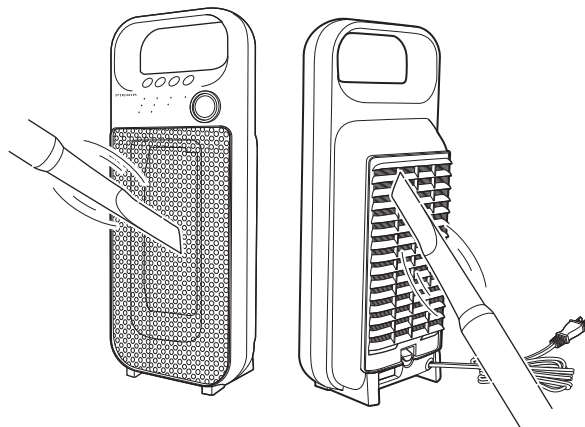
お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。変質・変形の原因になります。
- 本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)



オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。
変色、変形させる原因になります。

通常の吸気口／温風吹出口《ヒーター》のお手入れ

通常のお手入れは、掃除機でホコリを吸い取ってください。

活性炭フィルター・プレフィルターの お手入れ

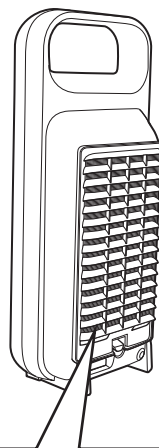
下記の手順に従って行なってください。

- 1 本体から背面カバーを取りはずす
- 2 本体から活性炭フィルターを、背面カバーからプレフィルターを取りはずす。
- 3 活性炭フィルターのゴミやホコリを手や掃除機で丁寧に取り除く
- 4 本体に活性炭フィルター、背面カバーにプレフィルターをはめ込む
- 5 背面カバーを本体へはめ込む

※お手入れのあとは、必ずプレフィルターを取り付けた背面カバーを本体に取り付けてください。

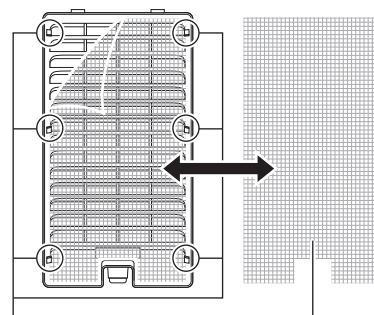


- 背面カバーのお手入れはこまめに行なう。
- プレフィルターを取り付けずに運転開始しない。
- 活性炭フィルターは絶対に水につけない。効果がなくなります。



プレフィルターはお手入れのあと、背面カバー裏面にあるフィルター固定用ツメ(6か所)に取り付けてください。

背面カバー



フィルター固定用ツメ

プレフィルター

フィルターの交換

フィルターをお求めの際は、本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※ フィルターは消耗品ですので、保証期間中でも「有料」とさせていただきます。

【活性炭フィルター】

活性炭フィルターは、脱臭の効果があります。約1年で効果がなくなりますので、新しい活性炭フィルターと交換してください

商品名：活性炭フィルター（1個）

ACFT-LA1

メーカー希望小売価格¥1,000（税抜）

【プレフィルター】

破れたり、汚れがひどくなったり、紛失した場合などは、交換してください。

※ プレフィルターは水洗いできます。

商品名：プレフィルター（1個）

PFT-LA1408

メーカー希望小売価格¥500（税抜）

保管のしかた

※ お手入れの後、よく乾燥させてください。

※ ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込んでください
	・安定した水平な場所に置かれていない(転倒オフスイッチが働いている)	置き場所を確認してください(安定した水平な場所に置く)
	・安全装置(温度ヒューズ)が働いている(4ページをご参照ください)	販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご連絡ください
電源ボタンで切にしているのに運転停止している	・切り忘れ防止機能で運転停止した	最終操作から約12時間経過すると、運転が自動的に停止するので、再度電源ボタンを押して運転を開始します
	・切タイマーが作動した	問題ありません。再度電源ボタンを押して運転を開始します
電源ボタンで入にしているのに運転開始した	・人感センサーのセンサー運転モードが設定されていて、動作を開始した	人感センサーボタンを押してセンサー運転モードを解除するか電源ボタンを押して電源を切ってください
電源ボタンを押して運転停止しても、ファンが回っている	・ヒーターを冷やすために運転停止にしても約10秒間、ファンが回ったままになります	ファンが回っているのが約10秒なら問題ありません
時間がたつとランプが暗くなる	・最後に操作を行ってから約1分でランプが減光するようになっています	問題ありません

長年ご使用のセラミックヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO